'77 4
No. 59
昭和52年4月1日発行
発行 横越村役場

広報よこごし

おもな内容
1. 信号が青でもよくみてわたろうね (1P)
2. 昭和52年度村財政 9億5,500万円 (2P)
3. 水道拡張事業、総額4億円余 (3P)
4. 納税や支払いは口座振替の活用を (3P)
5. 計量器の検査をうけましょう (3P)
6. 大の登録と狂犬病注射 (3P)
7. 私も覚えよう書道、生花 (4P)
8. 文化団体紹介 (4P)
9. こどもサロン (4P)

横越村民族資料 No.3
鞍と鋤

※ 4/6～4/15 春の全国交通安全運動 ※

信号が青でも、よく見てわたろうね

四月六日から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が実施されます。

今回の重点運動の一つに子供の事故防止が挙げられています。

春は新入学（入園）などで子供にとっては、行動の範囲が広がり交通事故の危険も倍加されます。事実子供の交通事故で一番多いのが、とびだしと道路の横断中の事故となっています。

道路の正しい横断、信号の正しい見方ドライバーと歩行者のゆずりあいの気持等々について子供の通園通学時、帰宅後等日常生活の中で正しい交通ルールなりマナーの習慣づけをしていただきたいと思います。

とびだし防止 車は急に止れない

子供の交通事故で一番多いのは、とびだしによるものです。これは、子供の行動が衝動的であり、危険に対する先見性がないという特性によるもので、一つのことに注意が向くと、まわりのものが目にも耳にも入らなくなり全く予測できない行動をとります。

例えば、ボール遊びや飛行機遊び等でつい夢中になり道路へとびだしたり、また、道路の反対側から母親が急に呼んだり、手をふったりしたときに思わず道路へとびだすことがあり、注意する必要があります。

子供は抽象的な説明だけでは理解できませんから、繰り返し安全な行動ができるまで指導してください。

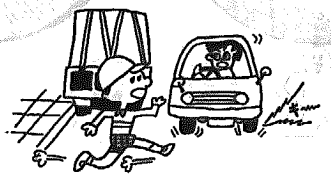
正しい横断 車のあとに又、車

道路を横断中の子供の交通事故は「とびだし」に次いで多発しています。道路の横断は、道路の端で必ずいったん止って、右を見て、左を見て、車が来ないことを確めてから渡ることを習慣づけることが重要です。

また、交通量が少ない道路であっても安全とはいえませんから、必らずいったん止って、左右の安全を確認して渡るよう教えてください。

特に、車の直前横断は、急ブレーキをかけても止まれない距離にきていることや、その車を追い越そうとしている車があること、通りすぎた直後の横断は、反対方向からくることがあること、信号に従って横断していても右、左折の車があること等々、できれば現場を通る機会に十分教えることが効果的です。

シートベルトは 地ごくの滑り止め



自動車事故の場合、車の損害はもとより一番悲惨なのは何といっても人身の死傷です。

シートベルトの着用によって大事故から身を守った事例が多くあり、着用効果が大きく認められてきています。

しかし残念なことに、殆どのドライバーや同乗者が着用してないのが実態です。

シートベルトは、あなた自身を守る地ごくの滑り止めです。ぜひ着用の習慣づけを心がけましょう。

校正板

「暮さ寒さも彼岸まで」とは良く云ったもので、いつ消えるかと思っておった例年にないあの大雪もすっかり消え、土を見る事が出来る様になった。

四月の声を聞くと急に身も心もひきしまり、又なんとなく忙がしさを感じて来る。横越村の予算も決定し、昭和五十二年度に向かってスタートを切り、又それぞれの団体も事業計画に基づいてスタートを切る。又外には春を待ちわびていたかの様に登校のランドセルを背負った小学校一年生の可愛い姿を見る事の出来るのもこの四月である。入学式、進学、就職、と一斉にスタートを切る。大人は大人で、子供は子供でこの四月を待ちわびていた事であろう。特に子供にとっては入学、進学、就職と子供なりに真剣に考え成長する。成長するに従って将来の事を考える。又親はその子供に対して立派に成長する様に願っておるのが世の中のつねである。

しかし、やゝも寸すると、親が子供に対して子供の考えている将来の希望を「夢だ、理想だ」と願から一蹴する傾向もたびん見られる。特に思春期と云う年令は、幸せな将来を夢見、求めているのである。親が考えて実現不可能の夢であると思ってもその夢を破る様に云って聞かせる事はかえって逆効果である。

幸せな将来を求めている気持をどうか大切にして「夢を見りゃ儀の将来決まっている」等と云う考えをおこさせない様に育ててやる親の心の持ち方が子供に対しても又、事業計画に対して真剣に取りくんでいる人達に対しても、大切なことであると思う。